



教会だより

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10
Tel 055-237-2531 Fax 055-237-2507
<http://catholic-kofu.com>
発行 甲府カトリック教会広報委員会

神父のつぶやき

カトリック甲府・塩山教会
主任司祭 白木 信一

「あなたのそばにいる人たちは、あなたにとって大切な人たちですか」と問われたら、皆さんはどのような返事をなさるのだろうか。この人がいなければもっと気分がいいのに、などと感じていたり、自分の目の前からいなくなってしまうなどと思ったりする相手はいないだろうか。そこまで思わなくても、「大切な人」とも思っていないということはないだろうか。

そもそもいやだなという感情が起きてくるのは、仕方がないと思う。だからといって、そのような人が自分にとって必ずしも大切でない人というわけでもなく、また、その人を排斥してもいいという正当な理由にはならない。私たちの周りには気に入る人もいれば気に入らない人もいるものだが、それは「お互い様」である。

それよりも、自分にない良い点を他者に見つけることの方が、他者の存在を受け容れ易くするのではないだろうか。もちろん悪は排斥すべきだが、人は十人十色と言われるように、いろいろな人がいる。それだからこそバラエティに富んだ社会になっているし、これだけ豊かになっていると思う。

気に入らない人であっても、自分の成長の糧になることもある。人間社会を構成している私たち一人ひとは、兄弟と同じで、自分で選んだのではなく与えられたものだから、否定できるものではない。否定できないことを否定しようとして苦しむより、自分にない良い点を他者のうちに発見しながら、共に自分たちの住む人間社会を豊かに幸せに築こうとする方が、よっぽど得策である。

教会共同体のメンバーはなおさらこのことをしっかりと認識すべきであろう。「互いに愛し合いなさい」とのキリストの命令に従って歩んでいる共同体のメンバーである私たちは、互いに神さまから与えられた兄弟姉妹としての交わりを、しかも三位の唯一の神の交わりに招かれている者として、大切にする必要がある。梅村司教様のモットー「COMUNIO COMUNITONUM（交わりの中の交わり）」にも示されている通りである。

聖パウロは、教会共同体のことを「あなたがたはキリストの体であり、一人ひとりその部分なのです。」（Ⅰコリント 12:27）と示し、同 25 節では「体のうちに分裂がなく、かえって、各部分がわけへだてなく互いのことを心し合うようにしてくださったのです。」と教えている。教会がこのような共同体に成熟していくことで、人類共同体の平和と幸福に貢献していく使命があるということではないだろうか。我々教会のメンバーがより深くキリストに結ばれていく恵みを祈る。

お知らせ(9月)

1. 世界難民移住移動者の日(指定献金日)

9月23日(日)は世界難民移住移動の日は、「各小教区とカトリック施設が、国籍を超えた神の国を求めて、真の信仰共同体を築き、全世界の人々と『共に生きる』決意を新たにする日」として設立されました。

当共同体においても、諸外国より来られ、文化、習慣等の異なる日本社会において様々な困難と闘いながら献身的に働かれていることに感謝し、お祈りと献金をお願いいたします。

当日、ミサの前に献金を集め、ミサの中で奉納されます。

(教皇様のメッセージは、後日配布致します。)

2. 横浜教区一粒会大会

9月17日(月)(敬老の日)に神奈川県大和市の聖セシリア女子中学校・高校アリーナで開催されます。(参加申し込みは締め切りました。)

参加される方の集合時間等は次の通りです。

- ・集合場所及び集合時間 甲府カトリック教会 集合8:00(出発8:10)
- ・交通手段 貸し切りバス
- ・参加費 2,000円(当日集金致します。)
- ・持ち物等 スリッパ・靴入れビニール 昼食

なお、参加されない皆さまも当日 召命のためのお祈りをお願いいたします。

(問い合わせ先 一粒会委員 今井繁さん)

3. 9月の堅信準備の勉強会

9月の堅信準備の勉強会は、日曜日の14時より、サンタルチア講堂で行います。

堅信申込者で、この勉強会を欠席される場合には、事前に白木主任神父様までお申出下さいませようお願いいたします。

(9月の堅信準備勉強会)

2日、9日、16日、23日、30日

4. 9月の早朝ミサ等

9月の早朝ミサ(6時50分)は、毎週火曜日、金曜日、土曜日に捧げられます。

なお、9月7日は9時30分より初金のミサが行われ、その後、センターホールで聖書を読む会を行います。

また、9月15日(土)、18日(火)25日(火)は都合によりお休みします。

5. 9月の教会学校・中高生会

9月の教会学校・中高生会は、9日(日)と16日(日)に行います。

6. 教会委員会

9月9日(日)ミサ後、サンタルチア講堂で教会委員会を開催します。
委員の皆さんのご出席をお願い申し上げます。

7. 典礼委員会

9月15日(土)9時から、センター・ホールで開催します。

8. 青少年育成委員会

9月18日(火)10時からセンターホールで行います。
なお、はじめの30分間、白木神父様の講話があります。
この講話はどなたでも参加できます。

9. 女性会

9月2日(日)、ミサの後、サンタルチア講堂で行います。

10. ソキオーの会

9月2日(日) 女性会の後、サンタルチア講堂で行いますので
お集まり下さいますようお願いいたします。

11. きずな

9月12日(水)10時から、センターホールで行います。

12. ピーターラビット。

9月11日(火)13時30分からセンターホールで行います。
テーマは、紙テープで作る『めがねケース』

持ち物 ☆クラフトテープ(準備します。費用:100円)

☆ 定規

☆ はさみ

☆ 木工用ボンド

☆ 牛乳パック(14センチの高さに切ってお持ち下さい。)

☆ 洗濯バサミ

* ご不明なこと、参加なさりたい方は、宮澤までお声かけ下さい。

13. 「いのちへのまなざし」(日本カトリック司教団)の読書会(勉強会)

「21世紀の司教団メッセージ」として発行された「いのちへのまなざし」の
読書会(勉強会)9月11日(火)16時よりセンターホールで行います。

(問い合わせ先:南ブロック 田村照夫さん)

14. 敬老の集い

9月23日(日)ミサ後、サンタルチア講堂で敬老の集いを行います。

敬老の集いへのご招待の対象の方は、9月23日 現在 75歳以上の信徒の方です。御案内状は往復はがきで8月17日に発送致しまして、8月31日で参加の申込みを締め切らせて頂きました。

ご招待の対象の信徒の方で、ご案内はがきが届いていない方がおりましたら、芦沢教会委員会委員長までご連絡をお願いします。(080-4158-0828)

15. ハヶ岳名水会「春の陽」収穫祭へのお誘い

「春の陽」の収穫祭が10月6日(土) 9時から北杜市の春の陽農場で行われます。秋の日の一日を、青空の下で稲刈りをしながら地域や名水会の皆さんと楽しい交流をしませんか

参加を希望される方は、9月30日(日)までに、センター掲示板の申込用紙にお名前など所定の事項をご記入くださるようお願い申し上げます。

(問い合わせ先 池田地域福祉委員長)

16. 関係団体などからのお知らせ

(1)NPO 法人やまなしライフサポート

①理事会・拡大運営委員会合同会議

9月28日(金) 19時～ サンタルチア講堂

主な議題：年末交流食事会(12月22日)について 他

②炊き出し500回へのお礼

2008年12月、リーマンショックの影響で山梨県でも多くの方が路上生活や生活困窮に追い込まれました。この時にカトリック教会の庭で第1回目の炊き出しが始まりました。以後最後の晩餐に因み毎週木曜日に開催され、2009年からはやまなしライフサポートが主体となり今日まで続いています。スタート当初より多くの信徒の皆さまのお祈りとご協力に支えられ9月27日の炊き出しで500回の節目を迎えることができ、改めて心から感謝の意を表したいと思います。

現在の炊き出しは食を提供するばかりでなく、困窮者の交流の場でもあり、健康相談や就労相談の場でもあります。この炊き出しが一層充実したものとなりますよう、今後も多くの信徒の皆さまのご支援とご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

(連絡先)080-5501-8191 事務局長 芦沢信)

(2)NPO 法人こどもサポートやまなし

①運営委員会

9月18日(火) 18時30分より、センター1Fホールで行います。

②学習会

今月の学習会は、9月9日(日)と9月23日(日)に13時30分より山梨カトリック福祉センター(旧山城教会)で開催いたします。

学習会に参加したくても交通手段がなく来られないお子さんのために送迎ボランティアを募集しております。

(ご協力いただける方は、中央ブロック 池田まゆみさんまでお願いいたします。)

③ともだちひろ場

今月のともだちひろ場は、9月15日(土)13時30分より山梨カトリック福祉センター(旧山城教会)で開催いたします。

④四季のあそび場

9月22日(土)14時より、甲府カトリック教会で「ソーメン流し」等を行います。

多くの子どもさんたちのご参加をお待ちしております。

④事例検討会

9月27日(木)18時30分より、センターホールで行います。

⑤こどもの夏休み明けの自殺予防への協力のお願い

内閣府の調査によりますと、こどもの夏休み明け、特に9月1日の自殺が多いという悲しい現実があります。

こどもサポートでは、全てのこどもたちが2月期に楽しく通学できることを願って、子どもとご家族向けに9月20日まで「夏休みの困ったこと相談できます」を行っております。

詳細は、折り込みチラシの通りですので、皆さまのご近所の子どもさんにお知らせ頂きますようお願い致します。

典礼の息吹

動作・姿勢

42 司祭と助祭および奉仕者の動作と姿勢、ならびに会衆の動作と姿勢は、祭儀全体が優美さと高貴な簡素さによって輝き、祭儀の個々の部分の正しく十全な意味が理解され、全員の参加が促されるようになさなければならない。それゆえ、個人の好みや自由裁量に対してよりも、本総則とローマ典礼様式の伝統的な実践によって定められたこと、ならびに神の民の霊的共通善に寄与することに対して注意が向けられなければならない。

すべての参加者が共通の姿勢を守ることは、聖なる典礼のために集まったキリスト者共同体の成員の一致のしるしである。それは、参加者の意向と心情を表現し、はぐくむものだからである。(新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所)

また次の43項には、「日本では、聖別のときは、会衆は立ったまま手を合わせ、聖別の後、司祭ならびに助祭とともに深く礼をしなければならない。」と指示されています。ミサのなかで、この時の動作が、もっとも会衆それぞれの習慣が反映される時かもしれません。それというのも、公会議以前は、「司祭が聖別のことばを口にするときは、鐘楼が鳴り、祭壇では侍者がベルを鳴らし、信者はひざまずいたり、あるいは床に平伏したりした。(国井健宏著・「ミサを祝う」より)すなわち会衆は、聖別の瞬間を見ることは、ゆるされてはいなかったのです。その習慣が、長い間身についておられる方は、司祭がパン(カリス)を高く揚げた際に、深く礼をなさる方々も多いように見受けられます。それが間違いというわけではありませんが、むしろ聖別されるパン(カリス)を仰ぎ見ることが、すすめられています。その時に、心の中で、使徒トマのことば、「我が主よ、我が神よ」と唱えたり、聖ペトロのことば、「あなたは活ける神の御子です」と祈ることもできます。(「キリストと我らのミサ」より)そして、司祭とともに深く礼をします。

これまで、三回に渡って、新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所について書いて参りました。だれでも、一旦身につけた習慣を変えるのは難しいことかもしれません。しかしながら、キリストがお与えくださる聖霊によって、常に新しくされていくわたしたちは、柔軟な心を持って、これらの変化をよろこんで実践していきたいものです。

「共通の規則に基づいてミサを捧げることによって、世界各地のローマ典礼様式の教会との一致」(「ミサ総則」改訂訳の実施)を意識いたしましょう。

山梨地区 司祭・修道者・信徒の皆様

山梨地区共同宣教司牧委員会

司祭代表 白木 信一

会 長 深澤 清子

山梨地区研修会のご案内

【山梨地区共同宣教司牧委員会】では、「共同宣教司牧」の理解を深め、地区の課題や今後の地区のヴィジョンを話し合うことを目的に、昨年引き続き下記の通り「山梨地区研修会」を開催いたします。

皆さんふるってご参加くださいますようお願いいたします

記

1.日 時 2018年10月14日（日） 午後2時より4時

2.会 場 カトリック甲府教会 サントラルチア講堂

3.テーマ 「共同宣教司牧委員会 10年の振り返りと今後の歩みを考えよう」

4.内 容 **第1部**

司教教書「共同宣教司牧に向けた新たな宣教司牧評議会と地区共同宣教司牧委員会」（2007年4月発行）を受けて、「山梨地区共同宣教司牧委員会」は2009年4月に発足されました。当時教区内において、規約やヴィジョンを作成し、正式に「共同宣教司牧委員会」の活動を始めた地区は皆無に等しい状況でした。なぜ山梨地区では「共同宣教司牧委員会」が他地区に先駆けて発足できたのか、当時の地区内の課題やヴィジョンを、教書が著された当時「教区宣教司牧評議会常任委員」で、地区共同宣教司牧委員会の初代会長であった米川崇氏（韮崎教会）から話を伺い、地区の10年の歩みを振り返ります。

第2部

参加者が小グループに分かれて、各々が感じている小教区や山梨地区の課題、今後の地区のヴィジョンについてわかちあいます。

5.申し込み 9月30日までにカトリックセンター入口の参加名簿にご記入ください。

こんにちは、こびっとプロジェクトです

(山梨地区東北被災地支援プロジェクト)

○ボランティア行ってきます

- ・担 当 : 甲府・塩山
- ・訪問地 : カリタス石巻ベース
- ・日 程 : 9月
- ・参加者 : 宮澤(甲府)

○5月の東日本大震災被災地支援ツアーに参加された皆さんより感想が寄せられました。今回は小松さん(富士吉田教会)です。

被災地支援ツアーに参加して

小松 二三子

今回で二回目の巡礼の旅である。

一回目は石巻、女川、南三陸、気仙沼そして、米川のキリシタン史跡の見学等が主なものでした。大地震とその後の大津波で多勢の方々が犠牲になり多くの建物を流失させた大自然の猛威を身近に感じた旅でした。石巻のボランティアガイドさんに「どうして皆さんはもっとはやく逃げなかったのですか」と質問しました。そしたらガイドさんは「私達は年寄りから平らな所には津波は来ないから」と言い聞かされていたのです。でも今回は違っていました。町は津波に飲み込まれ、私は従兄を二人も亡くしています」と涙ながらに話されました。私は被災地の方々の悲しみを何も判っていないなと自分が恥ずかしくなりました。気仙沼では、高い防波壁で町の安全は保証されましたが、「私達は、朝に夕に海を眺めて過ごす生活は無くなってしまいました」と涙をこらえながら話す姿を見て、ここでも「判って無いなあこの想い」と反省しました。そして被災地の人達のことを理解するにはその場所に行くのが一番と思う様になりました。次は福島に行ってみたいと思っていました。

二回目の巡礼の旅

石巻は震源に近い河口の街。ボランティアガイドさんが一集落が全て津波に呑み込まれた場所に連れて行ってくれました。その場所は海に近く平らで一面草が茂っていました。もう建物は建てられない場所になっているそうです。「ここは私の小さい頃の思い出がいっぱい有る場所です。今残っているのはお寺の建物だけです」と、遠くに見える

お寺を指して淋しそうでした。「ふるさと」を亡くすという事は心の拠所が無くなってしまふ様でとても悲しい気持ちに成りました。この場所に市と県と国とが協力して大きな公園を作る事になり工事が始まっているという。この地域に住んでいた方々の心の休める場所になってくれればと切に願いました。

今回も大川小学校に行きました。前回は、うす暗く何処からか子供達の笑い声が聞こえてくる様な雰囲気でしたが、今回は近くを工事の車が通ったりして明るくなって「子供さんや先生はもう天国に行かれたんだな」と思えて何かほっとした気持ちになりました。

福島のご事は、どう書いたら良いのか戸惑います。浪江町に向かう車の中から見た無人の家々、帰ってくれば、すぐにでも生活が始められそうな家々がずーと続く。怖さを感じる位の静かさがありました。

ガイドさんは、「保証は東京電力で放射能廃棄物の方は国の税金です」と、おしゃってました。放射能廃棄物の置き場はあちこちにあって、新たに置き場を用意している場所も何か所かありました。いつ終わるのだろうかと思いました。浪江町は一部帰還が許された町、町役場は動いていて、近くで小さなイベントをやっていた。町なかには静かで人は見かけ無い。お店が無いので帰って来られないらしい。浪江町で驚いた事がありました。車がやっとすれ違える位の狭い道路の右側が帰宅困難区域。左側は帰宅可能な区域となっている場所を通りました。帰宅可能区域側に誰も帰って来ていないそうです。無神経な行政に腹立たしい思いでしたが当事者の方々にとっては尚更のことでしょう。家があっても戻れない、これは津波で家を失った人たちとはまたちがった悲しみなのだろうと思いました。

石巻ベース・カリタス相馬ベースの皆様、大変お世話になりました。この旅行で思ったことは、目に見える復興は進んでいても、心の痛みを抱えながら生活している人は、まだたくさんいるのを忘れてはいけないということでした。



コスモス哀歌

光の中でコスモスが揺れた
むかし、わたしが子供だった頃
いくつもの戦争のあった時代を経て
わたしたちは大人になった

それぞれの夢と希望とささやかな願いと
それぞれの共有した空はさわやかに見えた

いつもいたずらに時は過ぎる
苦しみの中で家庭を築き、仕事を得て
そして子供を授かり、年老いて病み
そのさなかで、小さなイエスはいつも祈っていた
いつも、いつの日もみんながしあわせでありますように
そして、良き牧者でありますように・・・

その祈りは小さなイエスのすべてを充たして彼は幸せだった
いつも、いつの時代も人びとはいさかいをして
許しあう秘跡を望んだかに見えたが
いつも ひととは寂しく最後はひとりになる

それでも 彼らの生きた証はきらきらと雫ながら光る
コスモスは秋に咲き 美しい可憐な姿で
さまざまな人生の思惑をゆらゆらと批判し
愛という花弁で彩らせる

それは美しくも哀しい人生のものがたりを
それぞれの苦しみや葛藤や許しを得て
土に還るまで咲き続ける

わたしはいつもこの花のように
ゆらゆらと揺れながら
ちいさな家族を思った
遠い日のあなたとわたしと
苦しみを知ってからのわたしとあなたを
この花のようにいつも揺れながら
わたしたちは人生を生きた

ああ もう夕暮れが押し寄せるだろう
いつもいつの日も 神さまとともにありましたね
いつもいつの日も わたしたちは祈り足りなくて
でも いつも神さまとともにいたから
これからも 許されて苦しみを担いましょう

コスモスはひらひらと笑って散っていきました

川柳 一秋の雲一

秋の日よ 夕焼け族のようなきみ
バス停に座ると見える柘榴の木
ひと一人理解もできず花曇り
彼岸花 今年も咲いて墓参り
サルビアよ 燃え立つような秋を着る
この秋に切ない童話書けそうで
哀しみにお萩の館はたっぷり
父逝って十年 薔薇の苗育つ
馬鈴薯の千切り炒め そうか秋だ
秋ですね 空がきれいですねおとうさん

短歌 一夏を終えて一

この夏に心真っ白にしたいくなり
買う麻のシャツ静かに畳む

熱帯夜 コンビニに行きアイスを買う
人との絆危うき時も

誕生日 父を想って茄子の馬つくる
一人の盆のさみしさ

髪を切る ひとつの想い断つごとく
新しくなるインクのように

明日のことわからないから今日を生き
夕飯食べる身体の痛み

(おとぐろはつね)



✠ 今月の典礼奉仕表（9月） ✠

日	第一朗読	第二朗読	共同祈願奉仕	聖堂案内
9月 2日	風間ひろき	今井はじめ	志村（召命の祈り）	木村
9日	原田	今井（久）	杉田	池田
16日	遠藤	広瀬	今井（勇）	芦沢（マ）
23日	大木	山田	高原	今津
30日	国際ミサ	国際ミサ	芦沢	長野
10月 7日	松住ゆうり	デラクルズ・エイシャ	宮澤（召命の祈り）	御荘

✠ 今月のこよみ（教会暦、行事等） ✠

- ・主日のミサ 日曜日10:30～、土曜日18:00～イエスのカリタス甲府修道院（ヨゼフ寮）
- ・平日のミサ 火・金・土曜日06:50～（但し初金のミサ 9:30～）

9月	2日（日）年間第22主日	10:30	～	ミサ（ミサ後女性会）
	9日（日）年間第23主日	10:30	～	ミサ
		19:00	～	ポルトガル語ミサ（Português）
	16日（日）年間第24主日	10:30	～	ミサ
		12:30	～	韓国語ミサ（한글）
	23日（日）年間第25主日	10:30	～	ミサ
		15:00	～	英語ミサ（English）
		18:00	～	スペイン語ミサ（Español）
	30日（日）年間第26主日	10:30	～	ミサ（国際ミサ）
10月	7日（日）年間第27主日	10:30	～	ミサ（ミサ後、女性会）

※ 9月15日（土）・9月18日（火）・9月25日（火）の早朝ミサはお休みとなります。

清掃当番表（9月、10月 各ブロック輪番制）

9月 1日（土）	中央・北ブロック	9月23日（日）	フィリピン・ペルーグループ
9月 8日（土）	西・峡西ブロック	9月29日（土）	山城・峡南ブロック
9月 9日（日）	ブラジルグループ	10月 6日（土）	東・南ブロック
9月16日（日）	韓国グループ	10月14日（日）	ブラジルグループ